奥多摩　小川谷滝谷

2009 年 10 月 4 日（日）

白土（L）、熊崎、安藤（記録）

　秋の沢集中の前に、前夜発日帰りと 1 泊 2 日の沢登りに参加した。さらに経験を積むため、どこかに行きたいと思っていた。滝谷の募集があり、参加する。

10 月 4 日（日）　くもり

7:00　奥多摩駅に各人の車で集合。熊崎さんとは初めて顔合わせ、よろしくお願いします。熊崎さんは秋の沢集中の足慣らしで、1 年ぶりとのこと。

　車で舗装された日原街道を進む。東日原を過ぎたところで、登山ガイドで見たことのある稲村岩が見えた。日原鍾乳洞を過ぎると、未舗装の小川谷林道となるが道は良い。

7:50　林道終点は、酉谷山登山口で、車 20 台程が止められる駐車場がある。着替えをして、8:15　駐車場を出発し、登山道を進む。

8:40　三又で、渓流シューズ、ハーネスなどを身に着け、遡行準備を整え、9:00　白土、安藤、熊崎の順で遡行を開始する。沢は苔が多く見られ、滑らないように注意して歩く。おにぎり岩のナメ小滝や流木に登って小滝を越え、二条の滝　5m を登る。

二条の滝

10:00　下ッ滝　20m に着く。黒光りした壁で登れそうもなく右岸から高巻く。すぐにあらわれる両門ノ滝　6m　を補助ロープを使い登ると、3　段上ッ滝　25m　が現れる。下からでは中上段の滝の様子がわかり難く、関東周辺の沢登りベスト 50 の記載では、5 級 A0、A1 の文字が出てくる。結局、右岸を高巻く。

3 段上ッ滝

11:20　小さなコルジェを抜けると、胎内滝　CS　5m　がある。頭の上の隙間はザックを背負って抜けるのは難しい。ザックを上げ、補助ロープで確保してもらい、空身で上から下がっているシュリンゲにつかまり、よじ登る。

胎内滝

11:40　最後の滝となる岩溝ノ滝　7m　に着く。少し、休憩をとり、12:00　この滝を登る。このあとは、谷が開けて広くなだらかとなり、源頭の雰囲気がする。苔で覆われる岩や明るい空で照らされる黄緑色の葉が繁る木々の中を歩く、まるで新緑の沢登りのようだ。

13:00　長沢背稜の登山道に出る。登山靴に履き替えて、登山道を下り、14:10　酉谷山避難小屋に着く。台風で土台の土が削られ、現在は使用禁止。所々付け替えられた登山道を下り、三又で小休止。

15:50　駐車場に着く。ここで解散となる。

　今日は、大きな滝を高巻いたこともあり、少し早めの紅葉と沢登りというよりも静かな沢歩きが楽しめた。ありがとうございました。